

過年度評価対象地区の事業完了後報告 対象地区一覧表

整理番号	事前評価	事業採択	完了	事業略称	地区名
1	H21 (2009)	H23 (2011)	R2 (2020)	道営土地改良事業費 (経営体育成基盤整備事業)	えべおつほくせい 江部乙北西
2	H22 (2010)	H24 (2012)	R2 (2020)	道営土地改良事業費 (農地整備事業(経営体育成型))	ひがしなみなみ 東中南
3	H23 (2011)	H24 (2012)	R2 (2020)	道営土地改良事業費 (農地整備事業(経営体育成型))	せいなんなちようめ 西南7丁目
4	H23 (2011)	H24 (2012)	R2 (2020)	道営土地改良事業費 (農地整備事業(経営体育成型))	もせうしひがし 妹背牛東
5	H23 (2011)	H24 (2012)	R2 (2020)	道営土地改良事業費 (農地整備事業(経営体育成型))	あいち 愛知
6	H24 (2012)	H25 (2013)	R2 (2020)	道営土地改良事業費 (農地整備事業(経営体育成型))	おおとみだいに 大富第2
7	H24 (2012)	H25 (2013)	R2 (2020)	道営土地改良事業費 (農地整備事業(経営体育成型))	にしかわにし 西川西
8	H24 (2012)	H25 (2013)	R2 (2020)	道営土地改良事業費 (農地整備事業(経営体育成型))	にしながまひがし 西長沼東
9	H25 (2013)	H27 (2015)	R2 (2020)	道営土地改良事業費 (農地整備事業(経営体育成型))	ムム
10	H23 (2011)	H24 (2012)	R2 (2020)	道営農村総合整備事業費 (中山間地域総合整備事業)	みなみ 南たどし
11	H22 (2010)	H24 (2012)	R2 (2020)	道営土地改良事業費 (農地整備事業(畑地帯担い手支援型))	とことよかわ 常呂豊川
12	H22 (2010)	H24 (2012)	R2 (2020)	道営土地改良事業費 (農地整備事業(畑地帯担い手支援型))	ひほろほうえい 美幌豊栄
13	H22 (2010)	H24 (2012)	R2 (2020)	道営土地改良事業費 (農地整備事業(畑地帯担い手支援型))	たいしょうなかじま 大正中島
14	H23 (2011)	H24 (2012)	R2 (2020)	道営土地改良事業費 (農地整備事業(畑地帯担い手支援型))	めまんべつこなんしょうわ 女満別湖南昭和
15	H24 (2012)	H25 (2013)	R2 (2020)	道営土地改良事業費 (農地整備事業(畑地帯担い手支援型))	みついこしかわ 三井越川
16	H24 (2012)	H25 (2013)	R2 (2020)	道営土地改良事業費 (農地整備事業(畑地帯担い手支援型))	ちゅうおうまくべつにし 中央幕別西
17	H25 (2013)	H27 (2015)	R2 (2020)	道営土地改良事業費 (農地整備事業(畑地帯担い手支援型))	いなとぶくうめ 稲都福梅
18	H25 (2013)	H27 (2015)	R2 (2020)	道営土地改良事業費 (農地整備事業(畑地帯担い手支援型))	かわにしきたに 川西北2
19	H25 (2013)	H27 (2015)	R2 (2020)	道営土地改良事業費 (農地整備事業(畑地帯担い手支援型 (単独営農用水)))	しほろ 士幌

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年度	完了予定年度	事業内容	総事業費(百万円)
1	農政部	道営土地改良事業費 (経営体育成基盤整備事業)	えべつほくせい 江部乙北西	滝川市	H23(2011)	H28(2016)	○受益面積 353ha ○受益戸数 60戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 211ha ・用水路 L=5,483m ・排水路 L=2,360m ・暗渠排水 A= 13ha	2,530
					H23(2011)	H28(2016)	○受益面積 339ha ○受益戸数 59戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 227ha ・用水路 L=9,890m ・排水路 L=5,600m ・暗渠排水 A= 6ha	2,890
					H23(2011)	R2(2020)	○受益面積 341ha ○受益戸数 48戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 240ha ・用水路 L=11,818m ・排水路 L= 6,619m ・暗渠排水 A= 6ha	3,796

【整備前後の状況】

○整備前

- ・小区画、排水不良のほ場が多く、営農経費節減や農業経営規模拡大に支障をきたしている。
- ・用排水施設の老朽化により、維持管理に多大な労力を要している。



小区画状況

排水路老朽化



○整備後

- ・大区画化及び排水性の改善により、大型機械による農作業効率や生産性の向上、農業経営規模拡大が図られた。
- ・用排水路の整備により水管理省力化・維持管理軽減が図られた。



大区画化



排水路改修後

成
果
効
果
等

【事業内容の変更理由】

- ・離農により受益戸数が59戸から48戸に減少した。
- ・農地流動化に伴い、さらなる大区画化要望により区画整理面積が増加した。また、それに伴い、用排水路についても整備延長が増加した。

【担い手農地利用集積率】

受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合

事業実施前 88.9% → 事業完了後 93.2%

- ・本事業の実施により、集積率が向上した。
- ・狭小で排水不良だったほ場条件の改善が図られ、効率的かつ安定的な農業経営に繋がっている。

【総事業費変更内訳】

	増減額 (百万円)
・農地流動化による区画整理面積の増	167
・線形見直しによる用排水路延長の増	148
・その他の事業内容の変更	179
・入札差金	△ 124
・資材・労務単価等の上昇	536
合計	906

【アンケート調査結果】

○回答数・回収率

- ・区画整理、暗渠排水を実施した受益者に配布
- ・配布数13戸、回答数12戸、回収率92.3%

○主要作物(水稻)の収量

- ・1~2割程度増収したという意見が6戸50%からあり、このうち5戸42%は作業時間も減ったと回答。
- ・また、実施前と変わらないという意見が5戸42%からあったが、このうち4戸33%は作業時間が減ったと回答。
- ・1戸8%は無回答。

○作業時間

- ・1~3割程度軽減したという意見が11戸92%、実施前と変わらないという意見が1戸8%からあった。
- ・また、3戸25%から、大型機械の導入が可能になり、省力化が図られたという回答があった。

○その他(現場での改善意見)

- ・特になし

【費用便益比(B/C)】

事業採択時 1.41 → 事業完了時 1.45

- ・事業費の増加に伴い、総費用が増加した。
- ・区画整理面積の増加に伴い、総便益が増加した。
- ・効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加により、総便益が増加した。
- ・時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年度	完了予定年度	事業内容	総事業費(百万円)
2	農政部	道営土地改良事業費 (農地整備事業(経営体育成型))	ひがしなかなみ 東中南	上富良野町	H24(2012)	H29(2017)	○受益面積 130ha ○受益戸数 25戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 110ha ・用水路 L=2,100m ・排水路 L= 800m	1,800
					H24(2012)	H32(2020)	○受益面積 125ha ○受益戸数 23戸 ○整備工種 ・区画整理 A=124ha ・用水路 L=180m	1,650
					H24(2012)	R2(2020)	○受益面積 121ha ○受益戸数 20戸 ○整備工種 ・区画整理 A=121ha	1,623

【整備前後の状況】

○整備前

・狭小で不整形の未整備ほ場が多く、効率的な機械作業の妨げとなっている。



小区画状況



湿害状況

基盤整備

○整備後

・大区画化及び排水性の改善により、大型機械による農作業効率や生産性が向上した。

暗渠排水施工状況



大区画化

成

果

【事業内容の変更理由】

- ・離農により受益戸数が23戸から20戸に減少した。
- ・区画整理について、用地面積の精査により減少した。
- ・用水路について、区画形状の変更に伴う線形見直しにより区画整理へ工種移行した。

【担い手農地利用集積率】

受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合

事業実施前 69.9% → 事業完了後 95.2%

- ・本事業の実施により、集積率が向上した。
- ・狭小で排水不良だったほ場条件の改善が図られ、効率的かつ安定的な農業経営に繋がっている。

効

【総事業費変更内訳】

	増減額 (百万円)
・区画整理の排水路横断の整備不要による減	△ 150
・線形見直しによる用水路延長の減	△ 38
・その他の事業内容の変更	△ 7
・入札差金	△ 68
・資材・労務単価等の上昇	236
合計	△ 27

【アンケート調査結果】

○回答数・回収率

- ・区画整理、暗渠排水を実施した受益者に配布
- ・配布数20戸、回答数14戸、回収率70.0%

○主要作物(水稻)の収量

- ・1~2割程度増収したという意見が3戸21%からあり、作業時間も減ったと回答。
- ・また、実施前と変わらないという意見が4戸29%からあったが、作業時間は減ったと回答。
- ・7戸50%は無回答。

○作業時間

- ・1~3割程度軽減したという意見が10戸71%、実施前と変わらないという意見が2戸14%からあった。
- ・2戸14%は無回答。
- ・また、6戸43%から、大型機械の導入が可能になり、省力化が図られたという回答があった。

○その他(現場での改善意見)

- ・特になし

果

等

【費用便益比(B/C)】

事業採択時 1.57 → 事業完了時 1.40

- ・収益性の高い作物から土地利用型作物(水稻・小麦)へ転換したため、総便益が減少した。
- ・区画整理面積の減少に伴い、総便益が減少した。
- ・効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加により、総便益が増加した。
- ・時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。

過年度評価対象地区の事業完了後報告

(様式6)

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年度	完了予定年度	事業内容	総事業費(百万円)
3	農政部	道営土地改良事業費 (農地整備事業(経営体育成型))	せいなんなちようめ 西南7丁目	滝川市	H25 (2013)	H33 (2021)	○受益面積 109ha ○受益戸数 26戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 46ha ・用水路 L=7,850m ・排水路 L=4,190m ・暗渠排水 A= 1ha	1,100
					H24 (2012)	H33 (2021)	○受益面積 109ha ○受益戸数 24戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 49ha ・用水路 L=7,800m ・排水路 L=3,730m	1,100
					H24 (2012)	R2 (2020)	○受益面積 108ha ○受益戸数 22戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 55ha ・用水路 L=7,687m ・排水路 L=3,894m	1,279

【整備前後の状況】

○整備前

- ・小区画や排水不良により、大型機械体系に対応しておらず、営農に苦慮している。
- ・用排水施設の老朽化により、維持管理に多大な労力を要している。



小区画状況



用水路老朽化

○整備後

- ・大区画化及び排水性の改善により、大型機械による農作業効率や生産性が向上した。
- ・用排水路の整備により水管理省力化・維持管理軽減が図られた。



大区画化



用水路パイプライン化

成

果

【事業内容の変更理由】

- ・離農により受益戸数が24戸から22戸に減少した。
- ・農地流動化に伴い、さらなる大区画化要望により区画整理面積が増加した。
- ・用排水路について、測量精査により延長が増減した。

【担い手農地利用集積率】

受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合

事業実施前 91.3% → 事業完了後 98.8%

- ・本事業の実施により、集積率が向上した。
- ・狭小で排水不良だったほ場条件の改善が図られ、効率的かつ安定的な農業経営に繋がっている。

効

【総事業費変更内訳】

	増減額 (百万円)
・農地流動化による区画整理面積の増	39
・測量精査による用排水路延長の増減	7
・その他の事業内容の変更	△ 34
・入札差金	△ 48
・資材・労務単価等の上昇	215
合計	179

【アンケート調査結果】

○回答数・回収率

- ・区画整理、暗渠排水を実施した受益者に配布
- ・配布数8戸、回答数7戸、回収率87.5%

○主要作物(水稻)の収量

- ・1～2割程度増収したという意見が2戸29%からあり、作業時間も減ったと回答。
- ・また、実施前と変わらないという意見が5戸71%からあったが、このうち3戸43%は作業時間が減ったと回答。

○作業時間

- ・1～3割程度軽減したという意見が5戸71%、実施前と変わらないという意見が1戸14%からあった。
- ・1戸14%は無回答。
- ・また、水稻の直播栽培が可能となったと5戸71%から回答があった。

○その他(現場での改善意見)

- ・特になし

果

等

【費用便益比(B/C)】

事業採択時 1.27 → 事業完了時 1.10

- ・事業費の増加に伴い、総費用が増加した。
- ・区画整理面積の増加に伴い、総便益が増加した。
- ・効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加により、総便益が増加した。
- ・時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年度	完了予定年度	事業内容	総事業費(百万円)
4	農政部	道営土地改良事業費 (農地整備事業(経営体育成型))	もせうしほがし 妹背牛東	妹背牛町	H25 (2013)	H33 (2021)	○受益面積 262ha ○受益戸数 28戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 98ha ・用水路 L=10,055m ・排水路 L= 6,900m ・暗渠排水 A= 7ha	1,540
					H24 (2012)	H33 (2021)	○受益面積 264ha ○受益戸数 29戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 104ha ・用水路 L=10,928m ・排水路 L= 7,398m	1,540
					H24 (2012)	R2 (2020)	○受益面積 274ha ○受益戸数 29戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 129ha ・用水路 L=10,981m ・排水路 L= 6,873m	1,701

【整備前後の状況】

○整備前

- ・小区画や排水不良により、大型機械体系に対応しておらず、生産性の向上や営農労力の節減・経営コストの低減に支障をきたしている。
- ・用排水施設の老朽化により、維持管理に多大な労力を要している。



小区画状況



排水路老朽化



○整備後

- ・大区画化及び排水性の改善により、大型機械による農作業効率や生産性が向上した。
- ・用排水路の整備により水管理省力化・維持管理軽減が図られた。



大区画化



排水路改修後

成

果

【事業内容の変更理由】

- ・農地流動化に伴い、さらなる大区画化要望により区画整理面積が増加した。
- ・排水路について、暗渠落口高さが確保でき、既設切深で流下可能となったことにより延長が減少した。

【担い手農地利用集積率】

受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合

事業実施前 90.5% → 事業完了後 98.1%

- ・本事業の実施により、集積率が向上した。
- ・狭小で排水不良だったほ場条件の改善が図られ、効率的かつ安定的な農業経営に繋がっている。

効

【総事業費変更内訳】

	増減額 (百万円)
・農地流動化による区画整理面積の増	84
・暗渠落口高さ確保による排水路延長の減	△ 20
・その他の事業内容の変更	△ 82
・入札差金	△ 111
・資材・労務単価等の上昇	290
合計	161

【アンケート調査結果】

○回答数・回収率

- ・区画整理、暗渠排水を実施した受益者に配布
- ・配布数20戸、回答数20戸、回収率100.0%

○主要作物(水稻)の収量

- ・1~2割程度増収したという意見が2戸10%からあり、作業時間も減ったと回答。
- ・また、実施前と変わらないという意見が18戸90%からあったが、作業時間は減ったと回答。

○作業時間

- ・1~3割程度軽減したという意見が18戸90%、4割軽減したという意見が2戸10%からあった。
- ・また、10戸50%から、大型機械の導入が可能になり、省力化が図られたという回答があった。

○その他(現場での改善意見)

- ・特になし

果

等

【費用便益比(B/C)】

事業採択時 1.27 → 事業完了時 1.28

- ・事業費の増加に伴い、総費用が増加した。
- ・区画整理面積の増加に伴い、総便益が増加した。
- ・効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加により、総便益が増加した。
- ・時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。

過年度評価対象地区の事業完了後報告

(様式6)

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年	完了予定年	事業内容	総事業費(百万円)
5	農政部	道営土地改良事業費 (農地整備事業(経営体育成型))	あいち 愛知	せたな町	H25 (2013)	H33 (2021)	○受益面積 241ha ○受益戸数 34戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 138ha ・用水路 L=1,690m ・排水路 L= 730m ・暗渠排水 A= 32ha ・客土 A= 10ha	1,010
					H24 (2012)	H32 (2020)	○受益面積 245ha ○受益戸数 32戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 114ha ・用水路 L=6,831m ・排水路 L= 240m ・暗渠排水 A= 9ha ・客土 A= 10ha	720
					H24 (2012)	R2 (2020)	○受益面積 244ha ○受益戸数 29戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 124ha ・用水路 L=7,858m ・排水路 L= 238m ・暗渠排水 A= 5ha ・客土 A= 2ha	1,346

【整備前後の状況】

○整備前

- ・小区画、排水不良のほ場が多く、大型機械導入による営農経費節減や農業経営規模拡大に支障をきたしている。
- ・用排水施設の老朽化により、水管理に苦慮している。



小区画状況

排水路老朽化



○整備後

- ・大区画化及び排水性の改善により、大型機械による農作業効率や生産性の向上、農業経営規模拡大が図られた。
- ・用排水路の整備により水管理省力化・維持管理軽減が図られた。



大区画化

排水路改修後



基盤整備

成果
効果
等

【事業内容の変更理由】

- ・離農により受益戸数が32戸から29戸に減少した。
- ・農地流動化に伴い、さらなる大区画化要望により区画整理面積が増加した。
- ・区画整理内工種について、調査の結果により整備手法の見直しを行った。
- ・用水路について、調査の結果により不当沈下が判明し一体的に改修する必要が生じたため増加した。
- ・暗渠排水及び客土について、畦畔築立を行うことにより、区画整理工種へ移行したため減少した。

【総事業費変更内訳】

	増減額 (百万円)
・農地流動化による区画整理面積の増	93
・区画整理内工種の整備手法見直しによる増	128
・不当沈下により用水路改修延長の増	40
・用水路に係る木杭規格の変更	158
・暗渠排水面積の減	△ 4
・客土面積の減	△ 19
・その他の事業内容の変更	95
・入札差金	△ 25
・資材・労務単価等の上昇	160
合計	626

【費用便益比(B/C)】

事業採択時 1.11 → 事業完了時 1.40

- ・事業費の増加に伴い、総費用が増加した。
- ・収益性の高いばいれいしょの作付が増加し、総便益が増加した。
- ・区画整理面積の増加に伴い、総便益が増加した。
- ・効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加により、総便益が増加した。
- ・時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。

【担い手農地利用集積率】

受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合

事業実施前 93.2% → 事業完了後 94.2%

- ・本事業の実施により、集積率が向上した。
- ・狭小で排水不良だったほ場条件の改善が図られ、効率的かつ安定的な農業経営に繋がっている。

【アンケート調査結果】

○回答数・回収率

- ・区画整理、暗渠排水を実施した受益者に配布
- ・配布数23戸、回答数20戸、回収率87.0%

○主要作物(水稻)の収量

- ・1～2割程度増収したという意見が13戸65%からあり、このうち12戸60%は作業時間も減ったと回答。
- ・また、実施前と変わらないという意見が7戸35%からあり、作業時間も減らなかったと回答。

○作業時間

- ・1～3割程度軽減したという意見が12戸60%、実施前と変わらないという意見が8戸40%からあった。
- ・また、水稻の直播栽培が可能となったと3戸15%から回答があった。

○その他(現場での改善意見)

- ・特になし

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年度	完了予定年度	事業内容	総事業費(百万円)
6	農政部	道営土地改良事業費 (農地整備事業(経営体育成型))	おおよみだいに 大富第2	美唄市	H26 (2014)	H34 (2022)	○受益面積 145ha ○受益戸数 22戸 ○整備工種 ・区画整理 A=145ha ・用水路 L=293m ・排水路 L=485m	2,170
					H25 (2013)	H32 (2020)	○受益面積 147ha ○受益戸数 21戸 ○整備工種 ・区画整理 A=145ha ・用水路 L=293m ・排水路 L=485m	2,170
					H25 (2013)	R2 (2020)	○受益面積 146ha ○受益戸数 18戸 ○整備工種 ・区画整理 A=145ha ・用水路 L=173m ・排水路 L=508m	2,420

【整備前後の状況】

○整備前

- ・ 小区画、排水不良のほ場が多く、大型機械導入による営農経費節減や農業経営規模拡大に支障をきたしている。
- ・ 用排水施設の老朽化により、水管理に多大な労力を要している。



小区画状況

排水路老朽化



基盤整備

○整備後

- ・ 大区画化及び排水性の改善により、大型機械による農作業効率や生産性の向上、農業経営規模拡大が図られた。
- ・ 用排水路の整備により水管理省力化・維持管理軽減が図られた。



大区画化



排水路改修後

成
果
・
効
果
等

【事業内容の変更理由】

- ・ 離農により受益戸数が21戸から18戸に減少した。
- ・ 用水路について、区画形状の変更に伴い、取水位置の見直しにより延長が減少した。

【担い手農地利用集積率】

受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合

事業実施前 78.3% → 事業完了後 89.4%

- ・ 本事業の実施により、集積率が向上した。
- ・ 狭小で排水不良だったほ場条件の改善が図られ、効率的かつ安定的な農業経営に繋がっている。

【総事業費変更内訳】

	増減額 (百万円)
・ 線形見直しによる用水路延長の減	△ 5
・ 仮設道路の地耐力確保による敷鉄板の減	△ 12
・ その他の事業内容の変更	66
・ 入札差金	△ 82
・ 資材・労務単価等の上昇	283
合計	250

【アンケート調査結果】

○回答数・回収率

- ・ 区画整理、暗渠排水を実施した受益者に配布
- ・ 配布数12戸、回答数12戸、回収率100.0%

○主要作物(水稻)の収量

- ・ 1～2割程度増収したという意見が6戸50%からあり、このうち5戸42%は作業時間も減ったと回答。
- ・ また、実施前と変わらないという意見が6戸50%からあったが、このうち5戸42%は作業時間が減ったと回答。

○作業時間

- ・ 1～3割程度軽減したという意見が10戸83%、実施前と変わらないという意見が2戸17%からあった。
- ・ また、水稻の直播栽培が可能となったと7戸58%から回答があった。

○その他(現場での改善意見)

- ・ 特になし

【費用便益比(B/C)】

事業採択時 1.26 → 事業完了時 1.32

- ・ 事業費の増加に伴い、総費用が増加した。
- ・ 効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加により、総便益が増加した。
- ・ 時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。

過年度評価対象地区の事業完了後報告

(様式6)

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年度	完了予定年度	事業内容	総事業費(百万円)
7	農政部	道営土地改良事業費 (農地整備事業(経営体育成型))	にしかわにし 西川西	岩見沢市	H26 (2014)	H34 (2022)	○受益面積 203ha ○受益戸数 27戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 191ha ・用水路 L=12,662m ・排水路 L=10,286m ・暗渠排水 A= 6ha	1,940
					H25 (2013)	H32 (2020)	○受益面積 150ha ○受益戸数 22戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 148ha ・用水路 L=8,610m ・排水路 L=8,397m	1,850
					H25 (2013)	R2 (2020)	○受益面積 150ha ○受益戸数 19戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 147ha ・用水路 L=8,479m ・排水路 L=6,732m	1,959

【整備前後の状況】

○整備前

- ・小区画、排水不良のほ場が多く、大型機械導入による営農経費節減や農業経営規模拡大に支障をきたしている。
- ・用排水施設の老朽化により、維持管理に多大な労力を要している。



小区画状況



排水路老朽化



○整備後

- ・大区画化及び排水性の改善により、大型機械による農作業効率や生産性の向上、農業経営規模拡大が図られた。
- ・用排水路の整備により水管理省力化・維持管理軽減が図られた。



大区画化



排水路改修後

【事業内容の変更理由】

- ・離農により受益戸数が22戸から19戸に減少した。
- ・排水路について、暗渠落口高さが確保でき、既設切深で流下可能となったことにより延長が減少した。

【担い手農地利用集積率】

受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合

事業実施前 69.6% → 事業完了後 84.7%

- ・本事業の実施により、集積率が向上した。
- ・狭小で排水不良だったほ場条件の改善が図られ、効率的かつ安定的な農業経営に繋がっている。

【総事業費変更内訳】

	増減額 (百万円)
・暗渠落口高さ確保による排水路延長の減	△ 74
・環境影響調査辞退の申し出による減	△ 21
・その他の事業内容の変更	63
・入札差金	△ 85
・資材・労務単価等の上昇	226
合計	109

【アンケート調査結果】

○回答数・回収率

- ・区画整理、暗渠排水を実施した受益者に配布
- ・配布数18戸、回答数16戸、回収率88.9%

○主要作物(水稻)の収量

- ・1～2割程度増収したという意見が8戸50%からあり、このうち6戸38%は作業時間も減ったと回答。
- ・また、実施前と変わらないという意見が5戸31%からあったが、このうち3戸19%は作業時間が減ったと回答。
- ・3戸19%は無回答。

○作業時間

- ・1～3割程度軽減したという意見が12戸75%、実施前と変わらないという意見が4戸25%からあった。
- ・また、水稻の直播栽培が可能となったと16戸100%から回答があった。

○その他(現場での改善意見)

- ・特になし

【費用便益比(B/C)】

事業採択時 1.45 → 事業完了時 1.57

- ・事業費の増加に伴い、総費用が増加した。
- ・効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加により、総便益が増加した。
- ・時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。

成
果
効
果
等

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年度	完了予定年度	事業内容	総事業費(百万円)
8	農政部	道営土地改良事業費 (農地整備事業(経営体育成型))	にしながまみしがし 西長沼東	長沼町	H26 (2014)	H34 (2022)	○受益面積 163ha ○受益戸数 19戸 ○整備工種 ・区画整理 A=163ha	1,400
					H25 (2013)	H32 (2020)	○受益面積 157ha ○受益戸数 19戸 ○整備工種 ・区画整理 A=157ha	1,720
					H25 (2013)	R2 (2020)	○受益面積 152ha ○受益戸数 19戸 ○整備工種 ・区画整理 A=152ha	1,423

【整備前後の状況】

○整備前

- ・小区画、排水不良のほ場が多く、大型機械導入による営農経費節減や農業経営規模拡大に支障をきたしている。



小区画状況

○整備後

- ・大区画化及び排水性の改善により、大型機械による農作業効率や生産性の向上、農業経営規模拡大が図られた。



大区画化



成

【事業内容の変更理由】

- ・区画整理について、用地面積の精査により減少した。

【担い手農地利用集積率】

受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合

事業実施前 91.6% → 事業完了後 99.9%

- ・本事業の実施により、集積率が向上した。
- ・狭小で排水不良だったほ場条件の改善が図られ、効率的かつ安定的な農業経営に繋がっている。

果

【総事業費変更内訳】

	増減額 (百万円)
・区画整理内工種の整備手法見直しによる減	△ 77
・表土厚確保による整地工法の変更 (標準切盛工→突均し工)	△ 161
・支障物件(電柱・水道管)の回避による減	△ 54
・環境影響調査辞退の申し出による減	△ 40
・その他の事業内容の変更	△ 51
・入札差金	△ 62
・資材・労務単価等の上昇	148
合計	△ 297

【アンケート調査結果】

○回答数・回収率

- ・区画整理、暗渠排水を実施した受益者に配布
- ・配布数13戸、回答数13戸、回収率100.0%

○主要作物(水稻)の収量

- ・1~2割程度増収したという意見が1戸8%からあり、作業時間も減ったと回答。
- ・また、実施前と変わらないという意見が2戸15%からあったが、このうち1戸8%は作業時間が減ったと回答。
- ・10戸77%は無回答。

○作業時間

- ・1~3割程度軽減したという意見が4戸31%、実施前と変わらないという意見が2戸15%からあった。
- ・7戸54%は無回答。
- ・また、4戸31%から、大型機械の導入が可能になり、省力化が図られたという回答があった。

○その他(現場での改善意見)

- ・特になし

効

果

等

【費用便益比(B/C)】

事業採択時 1.19 → 事業完了時 2.14

- ・事業費の減少に伴い、総費用が減少した。
- ・区画整理面積の減少に伴い、総便益が減少した。
- ・収益性の高いねぎの作付が増加し、総便益が増加した。
- ・効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加により、総便益が増加した。
- ・時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年度	完了予定年度	事業内容	総事業費(百万円)
9	農政部	道営土地改良事業費 (農地整備事業(経営体育成型))	メム	深川市	H27 (2015)	H32 (2020)	○受益面積 146ha ○受益戸数 23戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 41ha ・用水路 L=6,422m ・排水路 L=2,317m	1,400
					H27 (2015)	H32 (2020)	○受益面積 142ha ○受益戸数 21戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 45ha ・用水路 L=6,280m ・排水路 L=1,784m	1,100
					H27 (2015)	R2 (2020)	○受益面積 144ha ○受益戸数 21戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 49ha ・用水路 L=6,197m ・排水路 L=1,696m	1,093

【整備前後の状況】

○整備前

- ・小区画、排水不良のほ場が多く、大型機械導入による営農経費節減の妨げとなっている。
- ・用排水施設の老朽化による機能低下により、用水不足や排水不良が生じている。



○整備後

- ・大区画化及び排水性の改善により、大型機械による農作業効率や生産性が向上した。
- ・用排水路の整備により水管理省力化・維持管理軽減が図られた。



【事業内容の変更理由】

- ・農地流動化に伴い、さらなる大区画化要望により区画整理面積が増加した。

【担い手農地利用集積率】

受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合

事業実施前 99.5% → 事業完了後 99.6%

- ・本事業の実施により、集積率が向上した。
- ・狭小で排水不良だったほ場条件の改善が図られ、効率的かつ安定的な農業経営に繋がっている。

【総事業費変更内訳】

	増減額 (百万円)
・農地流動化による区画整理面積の増	24
・仮設道路の地耐力確保による敷鉄板の減	△ 58
・その他の事業内容の変更	△ 44
・入札差金	△ 37
・資材・労務単価等の上昇	108
合計	△ 7

【アンケート調査結果】

○回答数・回収率

- ・区画整理、暗渠排水を実施した受益者に配布
- ・配布数11戸、回答数11戸、回収率100.0%

○主要作物(水稻)の収量

- ・実施前と変わらないという意見が6戸55%からあったが、作業時間は減ったと回答。
- ・5戸45%は無回答。

○作業時間

- ・1～3割程度軽減したという意見が11戸100%からあった。
- ・また、6戸55%から、大型機械の導入が可能になり、省力化が図られたという回答があった。

○その他(現場での改善意見)

- ・特になし

【費用便益比(B/C)】

事業採択時 1.24 → 事業完了時 1.34

- ・区画整理面積の増加に伴い、総便益が増加した。
- ・効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加により、総便益が増加した。
- ・時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。

成
果
・
効
果
等

過年度評価対象地区の事業完了後報告

(様式6)

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年	完了予定年度	事業内容	総事業費(百万円)
10	農政部	道営農村総合整備事業費(中山間地域総合整備事業)	みなみ南たどし	深川市	H24(2012)	R1(2019)	○受益面積 376ha ○受益戸数 53戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 95ha ・用水路 L=19,517m ・暗渠排水 A= 35ha	2,400
					H24(2012)	R1(2019)	○受益面積 376ha ○受益戸数 50戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 95ha ・用水路 L=19,517m ・暗渠排水 A= 35ha	2,400
					H24(2012)	R2(2020)	○受益面積 363ha ○受益戸数 36戸 ○整備工種 ・区画整理 A= 84ha ・用水路 L=20,666m ・暗渠排水 A= 22ha	2,603

成 果	<p>【整備前後の状況】</p> <p>○整備前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用水施設の老朽化が進み、漏水が激しく、水管理や維持補修に多大な労力が掛かっていた。  <p>維持管理に多大な労力が必要</p> <p>用水路からの漏水状況</p> <p style="text-align: center;">↓ 基盤整備 ↓</p>  <p>用水路のバイブライン化</p> <p>用水路のバイブライン化</p>	<p>○整備後</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大区画化及び排水性の改善により、大型機械による農作業効率や生産性が向上した。 ・用排水路の整備により水管理省力化・維持管理軽減が図られた。 																	
	<p>【事業内容の変更理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備取りやめ等により受益戸数が50戸から36戸に減少した。 ・経営状況の悪化に伴い、一部受益者が区画整理(整地・暗渠排水)及び暗渠排水の整備を取りやめ(区画整理△25.1ha、暗渠排水△13.1ha) ・農地の流動化に伴い、取得した隣接農地における区画整理(整地・暗渠排水)の追加(区画整理増 14.0ha) ・精査の結果による用水路の増(用水路増 1,149m) 	<p>【担い手農地利用集積率】</p> <p>受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合</p> <p>事業実施前 49.0% → 事業完了後 65.6%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の実施により、集積率が向上した。 ・狭小で排水不良だったほ場条件の改善が図られたことや用水路整備により維持管理労力が軽減され、効率的かつ安定的な農業経営に繋がっている。 																	
<p>【総事業費変更内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">増減額 (百万円)</td> </tr> <tr> <td>・区画整理面積の減</td> <td style="text-align: right;">△ 31</td> </tr> <tr> <td>・暗渠排水面積の減</td> <td style="text-align: right;">△ 29</td> </tr> <tr> <td>・用水路延長の増</td> <td style="text-align: right;">46</td> </tr> <tr> <td>・用水路の仮設道路見直し(ほ場盛土不要)</td> <td style="text-align: right;">△ 198</td> </tr> <tr> <td>・その他の事業内容の変更</td> <td style="text-align: right;">12</td> </tr> <tr> <td>・入札差金</td> <td style="text-align: right;">△ 37</td> </tr> <tr> <td>・資材・労務単価等の上昇</td> <td style="text-align: right;">440</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合計</td> <td style="text-align: right;">203</td> </tr> </table>		増減額 (百万円)	・区画整理面積の減	△ 31	・暗渠排水面積の減	△ 29	・用水路延長の増	46	・用水路の仮設道路見直し(ほ場盛土不要)	△ 198	・その他の事業内容の変更	12	・入札差金	△ 37	・資材・労務単価等の上昇	440	合計	203	<p>【アンケート調査結果】</p> <p>○回答数・回収率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区画整理、暗渠排水を実施した受益者に配布 ・配布数24戸、回答数24戸、回収率100.0% <p>○主要作物(水稻)の収量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1~2割程度増収したという意見が22戸92%からあり、作業時間も減ったと回答。 ・2戸8%は水稻の作付なし。 <p>○作業時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1~3割程度軽減したという意見が24戸100%からあった。 ・また、用排水路整備により、維持管理が省力化されたという意見が12戸50%からあった。 <p>○その他(現場での改善意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし
	増減額 (百万円)																		
・区画整理面積の減	△ 31																		
・暗渠排水面積の減	△ 29																		
・用水路延長の増	46																		
・用水路の仮設道路見直し(ほ場盛土不要)	△ 198																		
・その他の事業内容の変更	12																		
・入札差金	△ 37																		
・資材・労務単価等の上昇	440																		
合計	203																		
<p>【費用便益比(B/C)】</p> <p>事業採択時 1.18 → 事業完了時 1.04</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費の増加に伴い総費用が増加した。 ・区画整理及び暗渠排水の面積減少に伴い総便益が減少した。 ・効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加により、総便益が増加した。 ・時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。 																			

過年度評価対象地区の事業完了後報告

(様式6)

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年度	完了予定年度	事業内容	総事業費(百万円)
11	農政部	道営土地改良事業費 (農地整備事業(畑地帯担 い手支援型))	ところもよかわ 常呂豊川	北見市	H24 (2012)	H29 (2017)	○受益面積 635ha ○受益戸数 70戸 ○整備工種 ・排水路 L=482m ・区画整理 A= 19ha ・暗渠排水 A=399ha ・客土 A=294ha	1,620
					H24 (2012)	H32 (2020)	○受益面積 655ha ○受益戸数 72戸 ○整備工種 ・排水路 L=527m ・区画整理 A= 47ha ・暗渠排水 A=402ha ・客土 A=301ha	1,690
					H24 (2012)	R2 (2020)	○受益面積 694ha ○受益戸数 74戸 ○整備工種 ・排水路 L=527m ・区画整理 A=168ha ・暗渠排水 A=342ha ・客土 A=236ha	2,385

【整備前後の状況】

○整備前

・地区内全域が特殊土壌(重粘土、泥炭土)であるため、排水性・保水性が悪く、農作業の効率化や生産性向上に支障を来している。



排水不良の状況

○整備後

・暗渠排水及び客土により、ほ場の排水性・保水性が改善され、農作業効率の向上や農作物の安定生産が図られている。



暗渠排水の整備



農作物の安定生産が実現

基盤整備

【事業内容の変更理由】

・暗渠排水及び客土の区画整理への移行により区画整理が増加した。
 ・区画整理の新たな整備要望の取り込みにより事業量が増加し、受益戸数が72戸から74戸に増加した。

【担い手農地利用集積率】

受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合

事業実施前 99.9% → 事業完了後 100.0%

・本事業の実施により、集積率が向上した。
 ・ほ場条件の改善が図られ、効率的かつ安定的な農業経営に繋がっている。

【総事業費変更内訳】

	増減額 (百万円)
・暗渠排水及び客土の移行による区画整理面積の増	30
・整備要望の取り込みによる区画整理面積の増	70
・暗渠排水の疎水材変更(ホタテ貝殻→木材チップ)	166
・客土土取場の不良土の除去	220
・その他の事業内容の変更	62
・入札差金	△ 127
・資材・労務単価等の上昇	274
合計	695

【アンケート調査結果】

○回答数・回収率

・区画整理、暗渠排水、客土を実施した受益者に配布
 ・配布数68戸、回答数44戸、回収率64.7%

○主要作物(小麦、ばれいしょ、てんさい等)の収量

・1~2割程度増収したという意見が34戸77%、実施前と変わらないという意見が10戸23%からあった。
 ・大雨などの異常気象時の被害が軽減したという意見が41戸93%からあった。

○作業時間

・1~2割程度軽減したという意見が35戸80%、3割軽減したという意見が4戸9%、実施前と変わらないという意見が5戸11%からあった。

○その他(現場での改善意見)

・特になし

【費用便益比(B/C)】

事業採択時 1.94 → 事業完了時 1.77

・事業費の増加に伴い、総費用が増加した。
 ・受益面積の増加に伴い、総便益が増加した。
 ・効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加により、総便益が増加した。
 ・時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。

成
果
効
果
等

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年度	完了予定年度	事業内容	総事業費(百万円)
12	農政部	道営土地改良事業費 (農地整備事業(畑地帯担 い手支援型))	びほろぼろうまい 美幌豊栄	美幌町	H24 (2012)	H29 (2017)	○受益面積 600ha ○受益戸数 62戸 ○整備工種 ・区画整理 A=116ha ・暗渠排水 A=445ha ・客土 A= 70ha ・除 礫 A= 25ha	1,300
					H24 (2012)	H32 (2020)	○受益面積 594ha ○受益戸数 62戸 ○整備工種 ・区画整理 A=129ha ・暗渠排水 A=438ha ・客土 A= 63ha ・除 礫 A= 4ha	1,240
					H24 (2012)	R2 (2020)	○受益面積 751ha ○受益戸数 77戸 ○整備工種 ・区画整理 A=277ha ・暗渠排水 A=444ha ・客土 A= 45ha ・除 礫 A= 6ha	1,647

【整備前後の状況】

○整備前

- ・排水性の悪い粘質土壌に起因する湿害の発生や、石礫の混入など不良土の分布により、収量や品質など生産性の向上に支障を来している。
- ・傾斜地や不整形な農地では農作業の効率化に支障を来している。



急傾斜のため作業効率が低下



排水不良による湿害の発生

○整備後

- ・暗渠排水及び客土、除礫の実施により、ほ場の排水性や土壌物理性が改善され、農作物の安定生産が図られている。
- ・区画整理の実施により、ほ場の傾斜や不整形が解消され、農作業効率の向上が図られている。



区画整理によりほ場の傾斜が解消



農作物の安定生産が実現



成
果
効
果
等

【事業内容の変更理由】

- ・暗渠排水の区画整理への移行や新たな整備要望の取込により区画整理が増加し、受益戸数が62戸から77戸に増加した。
- ・新たな整備要望の取り込みにより暗渠排水が増加した。
- ・投資計画を見直し、整備を取りやめたことにより客土が減少した。

【総事業費変更内訳】

	増減額 (百万円)
・暗渠排水の移行による区画整理面積の増	25
・整備要望の取り込みによる区画整理面積の増	353
・整備要望の取り込みによる暗渠排水面積の増	16
・整地工法の変更(改良山成⇒窪地修正)	△ 38
・客土の整備要望取りやめ	△ 46
・その他の事業内容の変更	17
・入札差金	△ 67
・資材・労務単価等の上昇	147
合計	407

【費用便益比(B/C)】

事業採択時 2.71 → 事業完了時 3.10

- ・事業費の増加に伴い、総費用が増加した。
- ・区画整理、暗渠排水、除礫の面積増加に伴い、総便益が増加した。
- ・客土の面積減少に伴い、総便益が減少した。
- ・効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加により、総便益が増加した。
- ・時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。
- ・地区内ではたまねぎやにんじん、食用ばれいしょなどの高収益作物物が作付されていることから、作物生産効果が大きくB/Cが大きくなっている。

【担い手農地利用集積率】

受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合

事業実施前 99.2% → 事業完了後 99.8%

- ・本事業の実施により、集積率が向上した。
- ・ほ場条件の改善が図られ、効率的かつ安定的な農業経営に繋がっている。

【アンケート調査結果】

○回答数・回収率

- ・区画整理、暗渠排水、客土、除礫を実施した受益者に配布
- ・配布数73戸、回答数53戸、回収率72.6%

○主要作物(小麦、ばれいしょ、てんさい等)の収量

- ・1~2割程度増収したという意見が38戸72%、実施前と変わらないという意見が13戸25%からあった。
- ・2戸3%は無回答。
- ・大雨などの異常気象時の被害が軽減したという意見が29戸55%からあった。

○作業時間

- ・1~2割程度軽減したという意見が27戸51%、3割軽減したという意見が1戸2%、実施前と変わらないという意見が25戸47%からあった。

○その他(現場での改善意見)

- ・特になし

過年度評価対象地区の事業完了後報告

(様式6)

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年度	完了予定年度	事業内容	総事業費(百万円)
13	農政部	道営土地改良事業費 (農地整備事業(畑地帯担い手支援型))	たいしょうなかしま 大正中島	帯広市	H24 (2012)	H29 (2017)	○受益面積 616ha ○受益戸数 35戸 ○整備工種 ・畑地かんがい A= 562ha ・排水路 L=3,000m ・区画整理 A= 13ha ・暗渠排水 A= 70ha ・客土 A= 70ha ・除礫 A= 32ha	1,240
					H24 (2012)	H32 (2020)	○受益面積 583ha ○受益戸数 30戸 ○整備工種 ・畑地かんがい A= 555ha ・排水路 L=2,320m ・区画整理 A= 62ha ・暗渠排水 A= 44ha ・客土 A= 65ha ・除礫 A= 16ha	1,260
					H24 (2012)	R2 (2020)	○受益面積 598ha ○受益戸数 33戸 ○整備工種 ・畑地かんがい A= 554ha ・排水路 L=3,016m ・区画整理 A= 108ha ・暗渠排水 A= 23ha ・客土 A= 43ha ・除礫 A= 3ha	1,259

【整備前後の状況】

○整備前

- ・暗渠排水の未整備農地が多く、湿害の解消が急務であった。
- ・保水力の低い土壌が広く分布し、土壌水分不足による生産性の低下や春先の強風による農地の風食が課題であった。



ほ場の排水不良による湿害

風害による生育不良(ビート)



基盤整備

○整備後

- ・排水路及び暗渠排水の整備により、ほ場の排水性が改善され、農作物の安定生産が図られている。
- ・畑地かんがいの整備により、適期の散水が可能となるとともに、客土によりほ場の保水性が改善され、農作物の安定生産が図られている。



暗渠排水によりほ場の排水性が改善



畑地かんがいにより農作物の安定生産が実現

【事業内容の変更理由】

- ・排水路の配置計画の見直しにより延長が増加し、受益戸数が30戸から33戸に増加した。
- ・暗渠排水の区画整理への移行により区画整理が増加した。
- ・H28台風災害の復旧農地において、区画整理の新たな整備要望の取込により事業量が増加した。
- ・投資計画を見直し、整備を取りやめたことにより客土が減少した。
- ・現地詳細調査の結果、含礫量が少なかったため、整備を取りやめたことにより除礫が減少した。

【総事業費変更内訳】

	増減額 (百万円)
・配置計画の見直しによる排水路延長の増	116
・工種移行による区画整理面積の増	1
・整備要望取り込みによる区画整理面積の増	47
・客土の整備要望取りやめ	△ 74
・除礫の整備要望取りやめ	△ 30
・畑地かんがいにおける仮設道路の整備不要	△ 66
・環境影響調査の取りやめ	△ 23
・排水路における法面植生工の取りやめ	△ 30
・その他の事業内容の変更	△ 12
・入札差金	△ 102
・資材・労務単価等の上昇	172
合計	△ 1

【費用便益比(B/C)】

事業採択時 1.13 → 事業完了時 1.51

- ・区画整理面積の増加に伴い、総便益が増加した。
- ・排水路の延長増により総便益が増加した。
- ・客土、除礫の面積減少により総便益が減少した。
- ・効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加により、総便益が増加した。
- ・時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。

【担い手農地利用集積率】

受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合

事業実施前 99.5% → 事業完了後 99.8%

- ・本事業の実施により、集積率が向上した。
- ・ほ場条件の改善が図られ、効率的かつ安定的な農業経営に繋がっている。

【アンケート調査結果】

○回答数・回収率

- ・区画整理、暗渠排水、客土、除礫を実施した受益者に配布
- ・配布数30戸、回答数22戸、回収率73.3%

○主要作物(小麦、ばれいしょ、てんさい等)の収量

- ・1~2割程度増収したという意見が17戸79%、実施前と変わらないという意見が5戸21%からあった。
- ・作物の品質が向上したという意見が16戸75%からあった。

○作業時間

- ・1~2割程度軽減したという意見が15戸71%、実施前と変わらないという意見が7戸29%からあった。

○その他(現場での改善意見)

- ・特になし

過年度評価対象地区の事業完了後報告

(様式6)

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年度	完了予定年度	事業内容	総事業費(百万円)
14	農政部	道営土地改良事業費 (農地整備事業(畑地帯担い手支援型))	めまんべつ 女満別 こなんしょうわ 湖南昭和	大空町	H25 (2013)	H33 (2021)	○受益面積 182ha ○受益戸数 28戸 ○整備工種 ・農道 L=1,728m ・区画整理 A= 58ha ・暗渠排水 A= 103ha ・客土 A= 72ha ・農地保全 N= 6か所	1,050
					H24 (2012)	H33 (2021)	○受益面積 205ha ○受益戸数 27戸 ○整備工種 ・農道 L=1,740m ・区画整理 A= 90ha ・暗渠排水 A= 76ha ・客土 A= 56ha ・農地保全 N= 4か所	1,010
					H24 (2012)	R2 (2020)	○受益面積 198ha ○受益戸数 26戸 ○整備工種 ・農道 L=1,720m ・区画整理 A= 98ha ・暗渠排水 A= 61ha ・客土 A= 45ha	1,189

【整備前後の状況】

○整備前

- 排水不良の土壌が広く分布している地域であるため、湿害により畑作物に収量や品質の低下が発生していた。
- ほ場の傾斜や褶曲が、効率的な農作業の支障になっていた。

○整備後

- 暗渠排水及び区画整理の実施により、ほ場の湿害解消や農作業の効率化が図られている。



排水不良の状況



ほ場の傾斜状況



暗渠排水により
ほ場の排水性が改善



区画整理により
ほ場の傾斜が解消

成

【事業内容の変更理由】

- 区画整理の新たな整備要望の取り込みにより事業量が増加した。
- 暗渠排水及び客土について、整備要望の取りやめにより事業量が減少し、受益戸数が27戸から26戸に減少した。
- 農地保全における法面工について、維持管理での対応で安定化が図られたため、整備を取りやめた。

【担い手農地利用集積率】

受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合

事業実施前 97.4% → 事業完了後 100.0%

- 本事業の実施により、集積率が向上した。
- ほ場条件の改善が図られ、効果的かつ安定的な農業経営に繋がっている。

果

【総事業費変更内訳】

	増減額 (百万円)
・整備要望の取り込みによる区画整理面積の増	90
・暗渠排水の整備要望の取りやめ	△ 41
・客土の整備要望取りやめ	△ 26
・農地保全の整備取りやめ	△ 5
・農道の盛土を現地発生土から購入土に変更	83
・入札差金	△ 56
・資材・労務単価等の上昇	134
合計	179

【アンケート調査結果】

○回答数・回収率

- 区画整理、暗渠排水、客土を実施した受益者に配布
- 配布数24戸、回答数15戸、回収率62.5%

○主要作物(小麦、ばれいしょ、てんさい等)の収量

- 1～2割程度増収したという意見が12戸80%、実施前と変わらないという意見が3戸20%からあった。
- 大雨や干ばつなどの異常気象時の被害が軽減したという意見が12戸80%からあった。

○作業時間

- 1～2割程度軽減したという意見が8戸53%、3割軽減したという意見が1戸7%、実施前と変わらないという意見が3戸20%からあった。
- 3戸20%は無回答。

○その他(現場での改善意見)

- 特になし

効

果

等

【費用便益比(B/C)】

事業採択時 1.72 → 事業完了時 1.39

- 事業費の増加に伴い、総費用が増加した。
- 区画整理面積の増加に伴い、総便益が増加した。
- 暗渠排水及び客土の面積減少、農地保全の取りやめに伴い、総便益が減少した。
- 効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加により、総便益が増加した。
- 時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年	完了予定年	事業内容	総事業費(百万円)
15	農政部	道営土地改良事業費 (農地整備事業(畑地帯担い手支援型))	みつこしかわ 三井越川	斜里町	H26 (2014)	H34 (2022)	○受益面積 402ha ○受益戸数 73戸 ○整備工種 ・区画整理 A=144ha ・暗渠排水 A=217ha ・客土 A= 42ha ・除 礫 A= 6ha ・侵入防止柵の設置 L=30km	1,050
					H25 (2013)	H32 (2020)	○受益面積 412ha ○受益戸数 74戸 ○整備工種 ・区画整理 A=188ha ・暗渠排水 A=192ha ・客土 A= 40ha ・侵入防止柵の設置 L=28km	1,160
					H25 (2013)	R2 (2020)	○受益面積 369ha ○受益戸数 72戸 ○整備工種 ・区画整理 A=279ha ・暗渠排水 A= 80ha ・客土 A= 10ha ・侵入防止柵の設置 L=23km	903

【整備前後の状況】

○整備前

- ・排水不良の土壌が広く分布している地域であるため、湿害により畑作物に収量や品質の低下が発生していた。
- ・ほ場の褶曲や窪地が、効率的な農作業の支障になっていた。
- ・鹿の侵入による農作物の食害が課題となっていた。



排水不良の状況



鹿の侵入による農作物の食害が拡大



○整備後

- ・暗渠排水及び区画整理の実施により、ほ場の湿害解消や農作業の効率化が図られている。
- ・侵入防止柵の設置により鹿の食害がなくなり、農作物の安定生産が図られている。



農作物の安定生産が実現



侵入防止柵の整備

成

果

【事業内容の変更理由】

- ・暗渠排水及び客土の区画整理への移行により区画整理が増加した。
- ・暗渠排水及び客土について、整備要望の取りやめにより事業量が減少し、受益戸数が74戸から72戸に減少した。
- ・侵入防止柵の設置ルート見直しにより延長が減少した。

【担い手農地利用集積率】

受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合

事業実施前 99.6% → 事業完了後 100.0%

- ・本事業の実施により、集積率が向上した。
- ・ほ場条件の改善が図られ、効果的かつ安定的な農業経営に繋がっている。

効

【総事業費変更内訳】

	増減額 (百万円)
・暗渠排水及び客土の移行による区画整理面積の増	45
・暗渠排水の整備要望の取りやめ	△ 263
・客土の整備要望取りやめ	△ 137
・侵入防止柵の設置ルート見直しによる延長減	△ 40
・侵入防止柵の機械施工から人力施工への変更	90
・入札差金	△ 80
・資材・労務単価等の上昇	128
合計	△ 257

【アンケート調査結果】

○回答数・回収率

- ・区画整理、暗渠排水、客土を実施した受益者に配布
- ・配布数60戸、回答数43戸、回収率71.7%

○主要作物(小麦、ばれいしょ、てんさい等)の収量

- ・1~2割程度増収したという意見が27戸63%、実施前と変わらないという意見が16戸37%からあった。
- ・大雨や干ばつなどの異常気象時の被害が軽減したという意見が30戸70%からあった。

○作業時間

- ・1~2割程度軽減したという意見が27戸63%、実施前と変わらないという意見が12戸28%からあった。
- ・4戸9%は無回答。

○その他(現場での改善意見)

- ・特になし

果

等

【費用便益比(B/C)】

事業採択時 1.69 → 事業完了時 1.78

- ・暗渠排水と客土の面積減少により総便益が減少した。
- ・侵入防止柵の延長減により維持管理費節減効果が増加した。
- ・効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加により、総便益が増加した。
- ・時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年度	完了予定年度	事業内容	総事業費(百万円)
16	農政部	道営土地改良事業費 (農地整備事業(畑地帯担い手支援型))	ちゅうおうまくべつにし中央幕別西	幕別町	H26(2014)	H34(2022)	○受益面積 580ha ○受益戸数 54戸 ○整備工種 ・畑地かんがい A= 13ha ・農道 L=1,270m ・区画整理 A= 191ha ・暗渠排水 A= 266ha ・客土 A= 33ha ・除磔 A= 25ha	1,360
					H25(2013)	H31(2019)	○受益面積 555ha ○受益戸数 51戸 ○整備工種 ・畑地かんがい A= 27ha ・農道 L=1,247m ・区画整理 A= 172ha ・暗渠排水 A= 261ha ・客土 A= 35ha ・除磔 A= 20ha	1,380
					H25(2013)	R2(2020)	○受益面積 540ha ○受益戸数 51戸 ○整備工種 ・畑地かんがい A= 49ha ・農道 L=1,225m ・区画整理 A= 203ha ・暗渠排水 A= 199ha ・客土 A= 27ha ・除磔 A= 11ha	1,428

【整備前後の状況】

○整備前

- ・暗渠排水の未整備農地が多く、湿害による収量・品質の低下が発生していた。
- ・ほ場の褶曲や窪地が、効率的な農作業の支障になっていた。



排水不良による湿害の発生

○整備後

- ・暗渠排水及び区画整理の実施により、ほ場の湿害解消や農作業の効率化が図られている。



暗渠排水によりほ場の排水性が改善



暗渠排水の施工状況



成
果
・
効
果
等

【事業内容の変更理由】

- ・暗渠排水及び客土の区画整理への移行により区画整理が増加した。
- ・暗渠排水、客土及び除磔について、整備要望の取りやめにより事業量が減少した。
- ・畑地かんがいの新たな整備要望の取り込みにより事業量が増加した。

【総事業費変更内訳】

	増減額 (百万円)
・暗渠排水及び客土の移行による区画整理面積の増	64
・暗渠排水の整備要望の取りやめ	△ 99
・客土の整備要望取りやめ	△ 28
・除磔の整備要望取りやめ	△ 30
・畑地かんがいの新たな整備要望の取り込み	24
・農道の法面保護工の追加	64
・入札差金	△ 111
・資材・労務単価等の上昇	164
合計	48

【費用便益比(B/C)】

事業採択時 2.22 → 事業完了時 2.07

- ・事業費の増加に伴い、総費用が増加した。
- ・畑地かんがいの面積増加により総便益が増加した。
- ・暗渠排水、客土、除磔の面積減少に伴い、総便益が減少した。
- ・効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加により、総便益が増加した。
- ・時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。
- ・地区内ではやまのいも、にんじん、ごぼうなどの高収益作物が作付されていることから、作物生産効果が大きくB/Cが大きくなっている。

【担い手農地利用集積率】

受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合

事業実施前 98.1% → 事業完了後 100.0%

- ・本事業の実施により、集積率が向上した。
- ・ほ場条件の改善が図られ、効果的かつ安定的な農業経営に繋がっている。

【アンケート調査結果】

○回答数・回収率

- ・区画整理、暗渠排水、客土、除磔を実施した受益者に配布
- ・配布数44戸、回答数33戸、回収率75.0%

○主要作物(小麦、ばれいしょ、てんさい等)の収量

- ・1~2割程度増収したという意見が24戸73%、実施前と変わらないという意見が9戸27%からあった。
- ・大雨や干ばつなどの異常気象時の被害が軽減したという意見が27戸82%からあった。

○作業時間

- ・1~2割程度軽減したという意見が22戸67%、実施前と変わらないという意見が9戸27%からあった。
- ・2戸6%は無回答。

○その他(現場での改善意見)

- ・特になし

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年度	完了年度	事業内容	総事業費(百万円)
17	農政部	道営土地改良事業費 (農地整備事業(畑地帯担 い手支援型))	いなほくわめ 稲都福梅	美幌町	H27 (2015)	H32 (2020)	○受益面積 328ha ○受益戸数 52戸 ○整備工種 ・農道 L=2,000m ・区画整理 A= 172ha ・暗渠排水 A= 57ha ・客土 A= 23ha ・除礫 A= 10ha	1,400
					H27 (2015)	H32 (2020)	○受益面積 352ha ○受益戸数 55戸 ○整備工種 ・農道 L=2,066m ・区画整理 A= 224ha ・暗渠排水 A= 27ha ・客土 A= 23ha ・除礫 A= 8ha	1,200
					H27 (2015)	R2 (2020)	○受益面積 485ha ○受益戸数 63戸 ○整備工種 ・農道 L=2,002m ・区画整理 A= 355ha ・暗渠排水 A= 27ha ・客土 A= 29ha ・除礫 A= 3ha	1,202

【整備前後の状況】

○整備前

- ・排水不良の土壌が広く分布している地域であるため、湿害が発生し、農作物の収量や品質の低下を招いていた。
- ・ほ場のうねりや窪地が、効率的な農作業の支障になっていた。



急傾斜ほ場のため作業効率の低下

○整備後

- ・暗渠排水及び区画整理の実施により、ほ場の湿害解消や農作業の効率化が図られている。



急傾斜の緩和により作業効率の向上が実現

【事業内容の変更理由】

- ・区画整理の新たな整備要望の取り込みにより事業量が増加し、受益戸数が55戸から63戸に増加した。
- ・客土について、新たな整備要望の取り込みにより事業量が増加した。
- ・除礫について、整備要望の取りやめにより事業量が減少した。

【総事業費変更内訳】

	増減額 (百万円)
・整備要望の取り込みによる区画整理面積の増	150
・勾配修正から窪地修正への変更	△ 160
・整備要望の取り込みによる客土面積の増	20
・除礫の整備要望取りやめ	△ 20
・入札差金	△ 70
・資材・労務単価等の上昇	82
合計	2

【費用便益比 (B/C)】

事業採択時 1.95 → 事業完了時 2.33

- ・区画整理面積の増加に伴い、総便益が増加した。
- ・客土の面積増加により総便益が増加した。
- ・除礫の面積減少により総便益が減少した。
- ・効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加により、総便益が増加した。
- ・時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。
- ・地区内ではたまねぎやにんじん、キャベツなどの高収益作物が作付されていることから、作物生産効果が大きくなっている。

【担い手農地利用集積率】

受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合
事業実施前 100.0% → 事業完了後 100.0%
 ・ほ場条件の改善が図られ、効果的かつ安定的な農業経営に繋がっている。

【アンケート調査結果】

○回答数・回収率

- ・区画整理、暗渠排水、客土、除礫を実施した受益者に配布
- ・配布数61戸、回答数45戸、回収率73.8%

○主要作物(小麦、ばれいしょ、てんさい等)の収量

- ・1～2割程度増収したという意見が34戸76%、実施前と変わらないという意見が11戸24%からあった。
- ・大雨や干ばつなどの異常気象時の被害が軽減したという意見が21戸81%からあった。

○作業時間

- ・1～2割程度軽減したという意見が30戸67%、実施前と変わらないという意見が10戸22%からあった。
- ・5戸11%は無回答。

○その他(現場での改善意見)

- ・特になし

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年度	完了予定年度	事業内容	総事業費(百万円)
18	農政部	道営土地改良事業費 (農地整備事業(畑地帯担い手支援型))	かわにしきたに川西北2	帯広市	H27(2015)	H32(2020)	○受益面積 626ha ○受益戸数 67戸 ○整備工種 ・排水路 L=850m ・区画整理 A=242ha ・暗渠排水 A=104ha ・客土 A=227ha ・除 礫 A= 30ha	1,480
					H27(2015)	H32(2020)	○受益面積 526ha ○受益戸数 59戸 ○整備工種 ・排水路 L=820m ・区画整理 A=221ha ・暗渠排水 A=108ha ・客土 A=225ha ・除 礫 A= 10ha	1,450
					H27(2015)	R2(2020)	○受益面積 446ha ○受益戸数 54戸 ○整備工種 ・区画整理 A=205ha ・暗渠排水 A= 66ha ・客土 A=188ha ・除 礫 A= 9ha	1,246

【整備前後の状況】

○整備前

- 排水不良の土壌が広く分布している地域であるため、湿害が発生し、農作物の収量や品質の低下を招いていた。
- ほ場のうねりや窪地が、効率的な農作業の支障になっていた。



排水不良による湿害の発生



○整備後

- 暗渠排水及び区画整理の実施により、ほ場の湿害解消や農作業の効率化が図られている。



暗渠排水によりほ場の排水性が改善



暗渠排水の施工状況

成
果
効
果
等

【事業内容の変更理由】

- 区画整理、暗渠排水、客土、除礫について、整備要望の取り下げにより事業量が減少し、受益戸数が59戸から54戸に減少した。
- 暗渠排水の落ち口確保のため排水路の切り下げを行う予定だったが、関連する暗渠排水の整備要望取りやめにより、改修の必要がなくなったことから、排水路の整備を取りやめた。

【総事業費変更内訳】

	増減額 (百万円)
排水路の整備要望取りやめ	△ 24
区画整理の整備要望取りやめ	△ 28
暗渠排水の整備要望の取りやめ	△ 70
客土の整備要望取りやめ	△ 70
除礫の整備要望取りやめ	△ 2
入札差金	△ 100
資材・労務単価等の上昇	90
合計	△ 204

【費用便益比(B/C)】

事業採択時 2.22 → 事業完了時 2.37

- 事業費の減少に伴い、総費用が減少した。
- 受益面積の減少に伴い、総便益が減少した。
- 排水路の皆減により総便益が減少した。
- 効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加により、総便益が増加した。
- 時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。
- 地区内ではやまのいも、小豆、食用ばれいしょなどの高収益作物が作付されていることから、作物生産効果が大きくなっている。

【担い手農地利用集積率】

受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合

事業実施前 98.0% → 事業完了後 100.0%

- 本事業の実施により、集積率が向上した。
- ほ場条件の改善が図られ、効果的かつ安定的な農業経営に繋がっている。

【アンケート調査結果】

○回答数・回収率

- 区画整理、暗渠排水、客土、除礫を実施した受益者に配布
- 配布数54戸、回答数38戸、回収率70.4%

○主要作物(小麦、ばれいしょ、てんさい等)の収量

- 1~2割程度増収したという意見が34戸89%、実施前と変わらないという意見が4戸11%からあった。
- 大雨や干ばつなどの異常気象時の被害が軽減したという意見が23戸61%からあった。

○作業時間

- 1~2割程度軽減したという意見が24戸63%、実施前と変わらないという意見が11戸29%からあった。
- 3戸8%は無回答。

○その他(現場での改善意見)

- 特になし

過年度評価対象地区の事業完了後報告

(様式 6)

上段：事前評価時
 中段：直近の再評価時又は事業採択時
 下段：事業完了時

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業採択年度	完了予定年度	事業内容	総事業費(百万円)
19	農政部	道営土地改良事業費 (農地整備事業(畑地帯担 い手支援型(単独営農用 水)))	しほろ 土幌	土幌町	H27 (2015)	H32 (2020)	○受益面積 2,235ha ○受益戸数 91戸 ○整備工種 ・営農用水 L=43km	1,400
					H27 (2015)	H31 (2019)	○受益面積 2,677ha ○受益戸数 91戸 ○整備工種 ・営農用水 L=46km	1,620
					H27 (2015)	R2 (2020)	○受益面積 2,677ha ○受益戸数 91戸 ○整備工種 ・営農用水 L=47km	2,009

【整備前後の状況】

○整備前

・現況配水管の老朽化に起因する破損、漏水等が顕著で、修繕等の維持管理費の増加や必要水量の確保に苦慮していた。



老朽化による配水管の漏水

○整備後

・営農用水施設の整備により、営農及び生活に必要な用水の安定的確保が可能となり、畑作・酪農農家の経営環境と生活環境の改善が図られた。



改修により安定的な水利用が実現

【事業内容の変更理由】

・配水管路の精査に伴い延長が増加した。

【施設管理者への聞き取り(土幌町)】

○その他

・本地区の整備により、管路の漏水が解消され、不足水量の確保に係る労力が減少した。不足率は、整備前が15.9%であったが、事業完了時には解消し安定した水量供給や維持管理の省力化が図られ、より効率的な施設運営が可能となった。

【総事業費変更内訳】

	増減額 (百万円)
・配水管路の延長増	30
・配水管路位置の変更	154
・管路埋戻し土を現地発生土から購入土に変更	181
・環境影響調査の追加	40
・入札差金	△ 80
・資材・労務単価等の上昇	64
合計	389

【費用便益比(B/C)】

事業採択時 3.14 → 事業完了時 3.24

・事業費の増加に伴い、総費用が増加した。
 ・配水管路の延長増により維持管理費節減効果が減少した。
 ・時点の変化による諸係数・単価の変更等により、各効果項目の効果額が変更となった。